

授業科目 生涯発達看護学概論

【担当教員名】 岩田みどり	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

本科目では人間のライフサイクル（生涯）を、胎児期・新生児期・乳児期・幼児期・学童期・思春期・青年期・壮年期・老年期に区分し、各期の成長発達の特徴を代表的な発達理論をベースにして理論的な理解を深める。また、各期に代表的な発達問題や健康問題に対する看護を認識する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 人間のライフサイクル（生涯）の変化と主な発達理論の概要について述べられる。
2. 胎児期・新生児期の特徴や主な発達問題と看護について述べられる。
3. 乳児期・幼児期の特徴や主な発達問題と看護について述べられる。
4. 学童期・青年期の特徴や主な発達問題と看護について述べられる。
5. 壮年期・老年期の特徴や主な発達問題と看護について述べられる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	人間のライフサイクル（生涯）を8区分に定義し、その変化と主な発達理論について学習する。	1	講義
2	胎児期・新生児期では、子宮内から外への適応や新生児の能力を紹介し、主な発達問題と影響因子に対する看護について学習する。	2	講義
3	乳児期・幼児期では、活動・言語・生活習慣の自立や主な発達問題について学習する。	3	講義
4	乳児期・幼児期の主な発達問題（愛情剥奪症候群・虐待など）に対する看護について学習する。	3	講義
5	学童期・青年期では、身体と心の変化の特徴や主な発達問題と看護について学習する。	4	講義
6	壮年期・老年期では、身体と心の変化の特徴や主な発達問題と看護について学習する。	5	講義
7	筆記テスト		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	系統看護学講座 小児看護学〔1〕小児看護学概論	小児臨床看護総論	奈良間美保他	医学書院 2007 2,800円+税
参考書	事例で学ぶ生涯発達臨床心理学	杉原一昭	福村出版	2001 2,800円+税
	わかりやすい発達心理学	無藤隆	ミネルヴァ書房	2,400円
その他の資料	講義の中で提示			
【評価方法】 筆記テスト90%+出席10%	【履修上の留意点】 1回目に説明する。			

看護学 専門